



9

イザナギ

8

イザナミ

7

アマテラス

6

アメノウズメ

5

ツクヨミ

4

スサノオ

3

テナヅチ
(クシナダヒメの母)

2

クシナダヒメ

1

アшинаヅチ
(クシナダヒメの父)



イザナキとイザナミ

天の神々は最後に生まれたイザナキとイザナミに、

「二人で力を合わせて、この下に漂っている国を整え、しっかりと作り固めなさい」

と言いました。そして玉飾りのついた一本の矛を渡しました。

この矛をアメノヌホコといいます。

イザナキとイザナミはその矛を受け取ると、天にかかる天の浮



スサノオ

須佐之男命



スサノオは、みそぎの時にイザナキの鼻から生まれました。イザナキの命令を聞かなかったので、故郷を追い出されて高天原のアマテラスに会いに行きますが、その乱暴さから地上世界へ追放されています。しかし地上世界でヤマタノオロチを退治したことから、英雄としてあがめられるようになります。スサノオをまつる代表的な神社は、京都府の八坂神社や愛知県の津島神社などです。五穀豊穡や厄除開運などをもたらす神として広く信仰されています。

アマテラス

天照大御神



イザナキが黄泉の国から戻り、みそぎで左の目を洗った時に生まれた女神がアマテラスです。太陽の神としてまつられていたので、天の石屋にとじこもった時は、すべての世界が真っ暗になってしまいました。アマテラスは皇室の祖神であり、日本国民の総氏神とされています。三重県の伊勢神宮、東京都の東京大神宮、宮崎県の天岩戸神社などにまつられており、総氏神らしく国家安泰や、子孫繁栄などをもたらす神として広く信仰されています。